

抄録

私たちのクリニックには、様々なタイプの患者さんがいらっしゃいますが、痛みの原因を誤って治療されていたり、原因がわからないと言われていたり、問題があるのに大丈夫と言われていたりした患者さんが後を絶ちません。そこで、日常的に良くある診断のエラーは何が理由で発生しているのかということを経験者の観点からお話をします。

そしてそこで不足していると考えられるものを補ってあげれば、診断の誤りというものはないはずなんです。

歯科治療で解決できる痛みは菌原性の問題しかありません。多くの非菌原性の問題は歯科治療自体では改善しません。したがって、まずはっきりさせておかないといけない事は、患者の問題が菌原性か非菌原性かです。ところが、臨床というものには難しいもので、明らかに菌原性の問題が見つかったとしても、それが痛みの原因にはなっていないという場合があります。

そこで、痛みの診断に最も重要な鑑別診断というステップがクローズアップされるわけです。鑑別診断を行い、すべての痛みを1つ残らず最初の来院時に診断することが最も重要なステップです。